

3 基本目標

この計画の策定に当たり、総合的かつ長期的な目標として、本県のめざすすがたを「基本目標」として設定しました。

<本県のめざすすがた>

(1) 真にゆとりと潤いの実感できる心豊かな県民生活の実現

文化芸術は、条例の目的にもあるとおり「人間に生きる喜びを与え、人間相互の連帯感を生み出し、共に生きる社会の基盤を形成する」ものであることから、文化芸術の振興により、県民生活において真にゆとりと潤いを実感できる、次のような社会の実現をめざします。

○ 文化芸術の鑑賞機会や活動機会

- ・ 県内の各地域において、身近なところで優れた文化芸術を鑑賞でき、文化芸術団体が県民ニーズに応える様々な活動を活発に展開しています。
 - ・ 子どものころから、文化芸術に親しむ機会が充実し、豊かな人間性や創造性をはぐくむ社会的な環境が整っています。
 - ・ 高齢者や障害者が文化芸術の鑑賞や活動を容易に楽しむための条件が整っています。
 - ・ 文化芸術の鑑賞や活動を行うための文化施設が整備され、利用者の満足のいくサービスを提供するとともに、人材育成、アート教育、アウトリーチ(※)など、地域の文化芸術振興の拠点としての機能を発揮しています。
- ※ アウトリーチ：施設外での事業実施や出前の事業。「芸術普及活動」、「教育普及活動」と訳されることが多い。

○ 創造的な人材の育成や創作環境等の整備

- ・ 芸術家等の活動の場、作品の発表機会などが充実しており、芸術活動に専念することのできる条件や機会などが整備されています。
- ・ 本県の地域特性等を生かした文化芸術が、芸術家等や県内の文化芸術団体、文化施設等によって創造・発信されています。

○ 伝統芸能の継承と発展

- ・ 地域の伝統芸能が後継者を得て着実に継承され、発表機会が確保されています。
- ・ 地域ではぐくまれてきた伝統芸能が、特色ある文化として広く住民に親しまれています。

(2) 個性豊かで活力に満ちた地域社会の発展

文化芸術は、鑑賞や活動をとおして、人の心を豊かにするだけでなく、文化芸術の持つ、人を引き付ける魅力や社会に与える影響力などにより、多様な可能性を秘めています。昨今では、文化芸術が経済活動において新たな需要や付加価値を生み出す源泉として、経済的な側面からの評価も受けるようになってきました。このため、文化芸術の持つ力を活用し、個性豊かで活力に満ちた地域社会の発展をめざします。

○ 文化資源を活用した地域づくり

- ・ まちづくりに、地域の歴史や文化、または現代アートなどが素材として取り入れられ、周囲の景観とも調和し、潤いのある生活が実現しています。
- ・ 地域の活性化に文化芸術を活用した手法が採用され、魅力ある地域づくりが行われています。

○ 様々な分野での文化芸術の活用

- ・ 文化芸術が鑑賞などの本来的な役割に加えて、教育、福祉、産業振興など様々な分野で活用され、効果を発揮しています。